

浜松観光ボランティアガイドの会

## “はままつ案内人” 新人養成講座 はじまる

2025年1月13日(月)から2月24日(月)まで全7回の予定で、27期新人養成講座が可美公園総合センター研修室にて、申込者数は22名、男性13名、女性9名で開講しました。本号では前半の3回分について紹介します。

【第1回 1月13日(月)】

新人参加者20名(男性11名 女性9名)

9:30春日事務局長から役員紹介、続いて大見会長より挨拶、岩城研修部長より日程説明があり、その後受講者たちは席の前後左右3~4名の小グループに分かれて自己紹介の時間(アイスブレイク)があり、場が和やかになりました。

9:45春日事務局長から「浜松観光ボランティアガイドの会」の紹介があり、文化・歴史に自ら親しむ事だけではなく、他の人も親しめるようなボランティア活動を一緒に明るく楽しくやらまいか!と話がありました。



第1回講座 アイスブレイクの様子

10:45大見会長から「ガイドの心構え」について、一期一会の言葉のように、その場その時を大切に、互いに心を通い合わせる空間を作り上げることにあるという話がありました。

【第2回 1月20日(月)】

新人参加者18名(男性10名 女性8名)

9:30浜松市博物館の鈴木一有館長の講演会があり、研修者と会員80名が耳を傾けました。

浜松の歴史と文化遺産と題して、約6000年前には海水面が5mほど上昇していた縄文海進と海退、弥生時代と大量に出土している銅鐸、古墳時代と三角縁神獣鏡、古代と伊場遺跡、荘園の分布、戦国大名たちの攻防、秋葉信仰と遠江の街道、浜名湖と天竜川が織りなす里と山と街について、さらに全国的にも多くある指定文化財の保存活用計画についても説明がありました。

最後に、観光街づくりについての話があり、当会の活動として「夏休み講座は未来をはぐくむ人づくり



第2回講座 博物館館長講演

のためにもとても良い活動です」「もう一度あの人のお話を聴いてみたい、もう一度浜松へ行ってみたいと思ってもらえるような人との出会いを大切にしてほしい」と語られた。

【第3回 1月27日(月)】

新人参加者17名(男性9名 女性8名)

9:30研修部吉山万智子さんの「お城とは」の講座では、お城の変遷(お城の成り立ち~中世と近世の武士の城)、天守の分類と現存天守、城の分類(山城・平山城・平城)、縄張りの三つの基本形式(輪郭式・梯郭式・連郭式)、土塁と堀と櫓、門(天守門・大手門・鉄門・埋門など)、天守閣について説明がありました。吉山さんは百名城を昨年までに62城訪問しているとのこと、体験談も交えながらわかり易い話が聞けました。



第3回講座 吉山さんの講座

10:30研修部鈴木智子さんの「浜松城の石垣」の講座では、野面積みの荒々しく迫力のある石垣は、すぐに目で見えて感動できるものであること。お城に関心がない人にもすぐに興味を持ってもらえるので、しっかり知識を身につけておくことと後々ガイドをする時に大変役立つことなど、体験談を交えた話に研修者たちは熱心に聴き入っていました。

広報部 伊藤英典(東ブロック)

# はじめての「西ブロック・文化祭」開催

11月26日(火) 西ブロック定例会後、初めての試みとして「文化祭」を開催しました。自慢のコレクションを前にして出品者と会員との交流では、出品者の熱意と情熱に感嘆の一言でした。展示の説明がひと段落した後、海外で購入した貴重なギターでの生演奏が始まりました。「アルコールが入らない分、指の動きが？」とご本人の弁でしたが、素晴らしい演奏に皆さんうっとりでした。最後はヨガ・気功体操でリフレッシュしました。会員の新たな一面が垣間見られ、有意義な楽しい時間となりました。

広報部 長田勝久 (西ブロック)



全国の御朱印・御城印



「薔薇」(水彩画)  
習い始めて8日目



出品者と会員の交流



ラグビーユニホーム  
市民マラソン大会 参加記念品



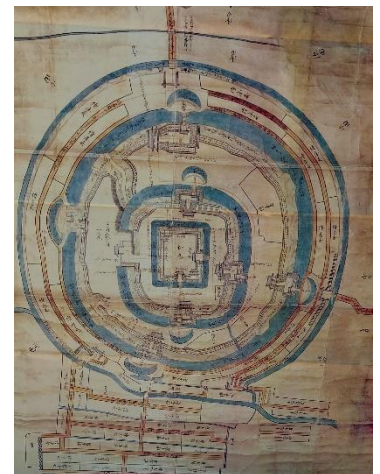
ギター歴は高校時代からの大ベテラン  
演奏曲・・・ジャニーギター  
鉄道員のテーマ  
ひまわり  
禁じられた遊び の4曲  
静岡市出身ですが、浜松の歴史を学ぶ為に  
入会し丸14年!  
退会記念の調べとなりました!!



「浜松城」(パステル画)



百名山登山記念バッジ  
百山完全制覇まであと少し!!



バス研修で見学した田中城の絵図



佐鳴湖公園のヤブヤンマ♂

## 会員の交流広場

## ミニ研修でブロック交流

12月28日(土)に西ブロック主催のミニ研修がありました。今回の研修は「～歴史を彩った偉人たちの眠る地を巡る～」というテーマで昨年9月24日に実施されたものと同じコースで、内容については会報11月号(268号)で詳しく記載されています。当会の会員は約120名で東、西、南、北、中の5ブロックに分かれて活動しています。

ガイド業務はどこのブロックに所属しても必ずあります。また、会員全体を対象とした研修や事業も年に何度かありますが、各ブロックが企画する「ミニ研修」と呼んでいる現地研修は、ブロックごとに頻度・内容が異なります。ミニ研修は参加人数に余裕がある場合には他ブロックからの参加も可能で、それを楽しみにしている会員も多いようです。

浜松の偉人たちが眠る寺社墓苑を巡った今回のコースは、普段ガイド業務を行っている浜松城や犀ヶ崖資料館の周辺ですが、観光目的の方はまず来ないところでした。さすがは個性あふれる研究者が多い西ブロック主催だけあって、偉人それぞ

れの裏話や秘話も交えた興味が尽きない説明を聞くことができました。

同じ内容ですでに実施済みだったため、主催の西ブロックの参加者4名で他ブロックの参加者7名という逆転現象が起き、おかげでブロックの垣根を越えて歴史トークに花を咲かせることができました。

各ブロックにおいては、今後もどんどんミニ研修を企画していただき、他ブ



遠州信貴山にて

ロックでも参加できる方は積極的に参加して、知識向上と交流促進を図っていただけると幸いです。まだ会員ではない好奇心旺盛な地元の皆さん、浜松観光ボランティアガイドの会に入会すればオリジナルの楽しい研修がたくさんあります。ぜひ私たちの仲間になってください。

広報部 都築厚好(北ブロック)

## 会員の交流広場

## ふるさと掛塚の繁栄と歴史

私の育った磐田市竜洋掛塚地区は、天竜川の河口に位置し天竜川と掛塚港(湊)によって古くから栄えた町です。天竜川は信濃の諏訪湖を源として全長約215km余りを流れ河口の掛塚に至ります。

港町の歴史としては室町時代にさかのぼりますが、豊臣秀吉、徳川家康の時代に天竜川沿いにある伊那谷の豊富な森林資源が本格的に活用され始めました。伐採された材木は筏(いかだ)で川を下り、河口の掛塚港から運ばれ、大坂城、江戸城、駿府城の造営・修復。京都、江戸の神社・仏閣、江戸の町づくり等に莫大な材木が運ばれました。



回船問屋の繁栄をしのぶ  
伊豆石の倉

江戸時代は、主として幕府の御用木材、御用米の回漕をし、また、浜松藩、中泉代官所、旗本などの所領の年貢米等も回漕していました。明治に入って一段と木材、諸物資の積み出しが盛んになり、掛塚は、中継基地として東京、大阪および各地の港町との交流が盛んになり、その文化を内陸

部にもたらしました。また、遠州の小江戸と言われ人々の暮らしを運んだ繁栄の港でもありました。しかし、東海道本線が開通し、明治25年中野町に貨物取り扱い駅が設置され木材の集積地が変わり、水運の拠点掛塚港は、次第に衰退しこれに追い打ちを掛けるように大火に見舞われ町の中心部は消失してしまいました。

掛塚本町に鎮座する貴船神社は、掛塚港の鎮守、航海安全の守護神として回船業者から崇敬されてきました。この神社の御祭礼にみられる屋台は、

当初、荷車、曳舞台、二階造りから始まり時代と共に改造され江戸時代末期から明治時代にかけて、全て唐破風造りの一階建てのものとなりました。江戸時代より町民の財政も豊かだったことから、造られた屋台も豪華です。金箔を押し、名工の刻んだ彫刻と精工な刺しゅうを施した天幕など美術工芸の粋が結集され、当時の掛塚港の繁栄をしのぶことができます。



豪華な掛塚の屋台

南ブロック 山下安範

昨年8月に家族と福井・滋賀へ旅行に行ってきました。コースは一日目・東尋坊→福井県立恐竜博物館→永平寺→(泊)、二日目・福井城跡→越前光る君へ大河ドラマ館→北前船主の館・右近家、重要文化財・中村家住宅→氣比神宮→琵琶湖・竹生島と二泊三日のようなスケジュール。

その中でも一番気になっていたのは福井城跡。私が住んでいる町に福井藩初代藩主結城秀康が生まれた中村家住宅があるので一度訪ねてみたかったです。

福井城は慶長6年(1601)に越前に入国した結城秀康が6年掛かりで北庄城を大改築したお城です。当時は最大幅100mもなる百間堀や高さ約30m四層五階の天守があったそうですが、寛文9年(1669)の大火によって焼失してしまい以後天守は再建されることはありませんでした。現在は御廊下橋(おろうかばし)と枳形になっている山里口御門(やまざとぐちごもん)が復



結城秀康像

元されており、藩主がここを通ったのかなとわくわくした気持ちで歩くことができました。天守台も残っており大きな石垣が天守の大きさを感じさせてくれました。



山里口御門

福井県庁や県警本部もある福井城跡でしたが、お盆の期間の早朝だったため人影もなく、凜とした空気が流れているような気がしました。念願だった結城秀康公の像にもご挨拶ができたのもうれしかったです。

お城の近くには徳川家康公、結城秀康公、松平春嶽公(第16代藩主)をお祀りした越前東照宮と佐佳枝廼社(さかえのやしろ)があり、福井の方々に親しまれているのがわかって感慨深かったです。あまり時間がなく駆け足での訪問だったので、次はもっとじっくり見て回りたいと思いました。

中ブロック 中村香苗

1月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

12日	日	旅人企画 東海道53次ウオーク	17名
13日	月	伊藤カンパニー	12名
16日	木	光聖ドリーム中学(韓国)	35名
18日	土	English Friends(小牧市)	20名
27日	月	安養寺農業活性化組合(越前市)	17名
28日	火	ちょこっとりっぷ	15名
30日	木	クラブツーリズム名古屋	18名
31日	金	向上高等学校	107名
		Mocha-Chi(インドFAMトリップ)	6名

《浜松まつり会館》

18日	土	静岡県ふじのくに子供観光大使	27名
19日	日	西成連区町会長協議会	39名

《犀ヶ崖資料館》

5日	日	ボーイスカウト第12団	8名
----	---	-------------	----

《同行ガイド》

実績なし

《ふるさと講座》

実績なし

はままつ案内人会報 271号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
 〒430-0946 浜松市中央区元城町100-2 (浜松城内)  
 TEL 053-456-1303  
 メールアドレス [mail@hama-svg.jp](mailto:mail@hama-svg.jp)  
 ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

はままつ案内人

検索

